



K A P P A N O V E L S

長編陸海戦記 書下ろし

激闘！地獄の戦

つじ まさ さき
辻 真先

お願い

この本をお読みになつて、どんな
感想をもたれたでしようか。「読後の
感想」を左記あてにお送りいただ
けましたら、ありがたく存じます。
なお、「カツ・パ・ノベルス」にかぎ
らず、最近、どんな小説を読まれた
でしょうか。また、今後、どんな小
説をお読みになりたいでしようか。
読みたい作家の名前もお書きくわえ
いただけませんか。

どの本にも一字でも誤植がないよ
うにつとめておりますが、もしお気
づきの点がありましたら、お教えく
ださい。ご職業、ご年齢などもお書
きそえください。幸せに存じます。

東京都文京区音羽二一二一三
(〒112-11)

光文社「カツ・パ・ノベルス」編集部

長編陸海戦記 激闘！地獄の戦車隊

1996年5月25日 初版1刷発行

1996年5月30日 2刷発行

著者 辻 真先

発行者 森 元順 司

印刷者 盛 庄 吉

東京都文京区水道2-4-26
慶昌堂印刷

発行所 東京都文京区音羽2
振替 00160-3-115347 株式会社光文社
電話 東京(3942)2241(代)

落丁本・乱丁本は本社でお取替えいたします。 (関川製本)

表紙の模様・意匠登録 116613 © Masaki Tsuji 1996

ISBN4-334-07193-7

Printed in Japan

【】本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

ヘカツバ・ノベルス出版目録

注・この目録は、各著者別にまとめました。

長編小説の KAPPA NOVELS(1)

松本 清張	長編推理小説	左保	連作時代小説	島田 一男	長編推理小説	森村 誠一	長編推理小説	斎藤 栄	推理傑作集
ゼ ロ の 焦 点				黒 殺 人 者		未 踏 峰	(上・下)	四季の女殺人事件	
眼 の 壁				死 體 遺 棄 現 場		湘 南 千葉殺人事件		謎の殺人図鑑	
点 と 線				特 別 鑑 識 搜 查 官		二階堂警部最後の危機			
砂 の 器				死 體 殺 人 擊 滅 搜 查 官		神戸「五重トリック」殺人			
松本 清張	長編推理小説	左保	長編推理小説	人 間 の 劍	(上・下)	二階堂特命刑事調査官			
松本 清張	長編推理小説	佐野 洋	長編推理小説	死 を 描 く 影 絵	(みち)	二階堂警部の逆襲			
黒 い 樹 海				森 村 誠 一	長編推理アクション小説	斎藤 栄	長編推理小説		
私 の 兵 刑 事				森 村 誠 一	長編推理小説	斎藤 栄	長編推理小説		
情 事 の 事 情				森 村 誠 一	長編推理小説	斎藤 栄	長編推理小説		
白 昼 の 死 角				森 村 誠 一	長編アクション小説	斎藤 栄	長編推理小説		
高木 彬光	長編推理小説	佐野 洋	長編推理小説	星 の 陣	(上・下)	二階堂警部の反乱			
現 代 夜 討 曾 我				森 村 誠 一	長編推理小説	斎藤 栄	長編推理小説		
魔 の 刺 刀				路	(みち)	二階堂警視の戦慄			
警 視 厅						殺 人 平 家 物 語			
寒 岸 搜 查 官						殺 人 源 氏 物 語			
凍 土 の 狩 人						殺 人 平 家 物 語			
二 階 堂 警 部 の 復 讐						殺 人 平 家 物 語			

清水 一行 長編企業小説	西村京太郎 長編推理小説
器に非ず	西村京太郎 長編推理小説
日本一周旅号殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
伊豆七島殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
消えたタンカーパス	西村京太郎 長編推理小説
消えた乗組員	西村京太郎 長編推理小説
雷鳥九号殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
発信人は死者	西村京太郎 長編推理小説
寝台特急殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
夜間飛行殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
終着駅殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
夜行列車殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
北帰行殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
富士山麓殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
月列車殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
清水 一行 長編企業小説	西村京太郎 長編推理小説
日本一周旅号殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
東北新幹線殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
下り特急「富士」殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
特急「あすさ」殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
山陰路殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
函館駅殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
日本海からの殺意の風	西村京太郎 長編推理小説
高麗鐵道殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
北能登殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
寝台特急「日本海」殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
夜間飛行殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
終着駅殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
北帰行殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
富士山麓殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
月列車殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
大垣行345M列車の殺意	西村京太郎 十津川警部シリーズ①
ひかり62号の殺意	西村京太郎 ミスティック・傑作集
「C62セコ」殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
新特急「つばめ」殺人事件	西村京太郎 新幹線
山形「つばさ」殺人事件	西村京太郎 長編推理小説
寝台特急「をなせ1号」殺人事件	西村京太郎 ミスティック・傑作集
特急「あさま」が運ぶ殺意	西村京太郎 長編推理小説
西村京太郎 十津川警部シリーズ②	西村京太郎 長編推理小説
十津川警部の決断	西村京太郎 十津川警部シリーズ③
宗谷本線殺人事件	西村京太郎 十津川警部シリーズ④
十津川警部の怒り	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑤
札幌駅殺人事件	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑥
山手線五・八キロの証言	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑦
特急「おおぞら」殺人事件	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑧
特急「北斗1号」殺人事件	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑨
パリ発殺人列車	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑩
十津川警部の逆襲	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑪
十津川警部の標的	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑫
仙台駅殺人事件	西村京太郎 十津川警部シリーズ⑬

◎最新刊シリーズ

長編推理小説

島田一男

心因解剖検査官

島田一男

驚愕の殺人動機と凶器の謎を暴け

傑作連作推理集

長編海戦史
悲憤の大和、栄光の「雪風」
辻 真先

特攻出撃せよ！最後の連合艦隊が往く

謎と恐怖と驚愕の三重奏！

長編企業冒険ロマン

痛快無比！極道が大阪・東京で大暴れ!!

黒いコンドル 仁科透

長編ハード・ロマン小説

泣くな海外社在職長 海外商社マンの苦悶と悔哭

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

長編推理小説

長編本格推理

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

鎌倉・ユガ洞まぼろしの誘拐 浅黄班

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

仕掛けの妙！大誘拐ミステリー、誕生！

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

Y I G 1 菊地秀行

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

美凶神 懐かたる麗人、魔界に降臨す！

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

長編推理小説

長編スペクタクル小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

能登島 黄金屋敷の殺人 吉村達也

長編推理小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

能登 東京、三十餘年を隔てる殺意の謎

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

ミステリー傑作集

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

三毛猫ホーリーズの好敵手 赤川次郎

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

友情？殺意？ライバルの危険な関係！

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

長編冒険小説

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

テロリスト 墓情 馬場啓一

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

長編推理小説

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

横浜死の魔方陣 蒼藤栄

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

依頼人の死に隠された衝撃の事実！

長編超伝奇バイオレンス小説

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!

激闘！地獄の戦車隊 辻真先

長編陸海戦記

「鮎川哲也賞」作家の重厚トリック!!



KAPPA NOVELS

「カッパ・ノベルス」誕生のことば

カッパ・ブックス Kappa Books の姉妹シリーズが生まれた。カッパ・ブックスは書下ろしのノン・フィクション（非小説）を主体としたが、カッパ・ノベルス Kappa Novels は、その名のとく長編小説を主体として出版される。

もともとノベルとは、ニューとか、ニューズと語源を同じくしている。新しいもの、新奇なもの、はやりもの、つまりは、新しい事実の物語というところから出でている。今日われわれが生活している時代の「詩と真実」を描き出す——そういう長編小説を編集していきたい。これがカッパ・ノベルスの念願である。

したがって、小説のジャンルは、一方に片寄らず、日本の風土の上に生まれた、いろいろの傾向、さまざまな種類を包藏したものでありたい。かくて、カッパ・ノベルスは、文学を一部の愛好家だけのものから開放して、より広く、より多くの同時代人に愛され、親しまれるものとなるよう努めたい。読み終えて、人それぞれに「ああ、おもしろかった」と感じられれば、私どもの喜び、これにすぎるものはない。

昭和三十四年十二月二十五日

光文社

げき とう じ ごく せん しゃ たい
激闘! 地獄の戦車隊

つじ まさき
辻 真先

激闘！ 地獄の戦車隊 目次

昭和七年に始まる

長夜進再同
驅襲擊會志

103 77 61 39 15 5

血準矛確
戰備盾保

昭和二十年に終わる

あとがき

197 193 175 164 143 127

本文のイラストレーション

加藤孝雄

彼ほど国際性ゆたかな貴族であつても、いやそれだからいっそう、国歌に忠実に、背筋をのばし踵を合わせた。

昭和七年に始まる

歓声が西の長身を包んだ。

優勝台の中央にのばつた彼は、十万にあまる観衆の、ほとんど怒号に近い叫びに抗して、ぐいと天をにらんでいた。そのポーズには、日頃の彼の嘲を聞く者に（さもあろう）と頷かせる、尊大さが見え隠れした。

彼自身にそんなつもりは毛頭ない。
抜けるような青い夏空に、はためく日章旗をみつめていただけだ。

わき上がる君が代の旋律が、西の体を震わせた。

耳慣れない東洋の異国の歌を、群衆は従順に聞き入っていた。

大きな口をたたいていても、実際その場に立ったときは、（泣くかな？）という不安はあつたし、どうせ泣くななら平気な顔で涙を流そうと考えていた。案外だつた。一滴もじんわりとこなかつた。

自分で自分の冷静さに、うんざりした。酒と女、喧嘩と博打の場では、呆れるほどの速さで沸騰するのにな……まあいいさ。

それでも西は、今日のこの日この瞬間を永遠に瞼と耳朶に刻んでおこうと思つた。

この日、昭和七年八月十四日。

ロサンゼルスで開催されたオリンピックの最終日

程に、馬術競技——大障害飛越競技が行なわれ、大番狂わせが起きたのである。

日本チームの西中尉が無名のウラヌス号を駆つて、金メダルを獲得したのだ。おなじ日本チームでは、まだしも今村少佐が騎乗するソンネボーアイ号のほうが、名が通っていた。トリノの国際競技で一等を獲得したこともある。

だが期待されたソンネボーアイ号は、第五障害でしくじつて著しく鬪志をおとろえさせ、第十障害でついに落馬、今村少佐は失格した。

やはり仲間の吉田少佐は、負傷して出場できない。

最後の望みが十一番目に乗る西にかけられたが、

直前に本命であったアメリカ選手チエンバレン少佐が、愛馬ショーガール号をあやつり全コースを大過なく乗り切つて、優勝の一番手と目されたのだ。

西が乗るウラヌス号がスタートしたとき、スタジ

アムの観衆の大部分は、まだチエンバレン少佐の妙技に酔つていた。

大本命の後を走る運のわるい東洋人。それも中國大陸にたびたび戦火をまき起こして、世界中から聾聾を買つてゐるジャパンの軍人である。

ただし、一部の者は知つてゐる。

騎手が西竹一と呼ばれる男爵で、日本人にめずらしい風貌と体格の主であり、なにより気前のいい大金持ちであることを。当然ながら、彼は女にもてた。ハリウッドの女優にさえもてた。

いま乗つてゐるウラヌス号も、彼が自前で買い込んだという話だ。

体高五尺七寸五分というから、西の背丈に迫る高さだ。台を用意しなくては乗れない大型の馬であつた。アングロ・ノルマン系であり、父方にサラブレッドの血がまじつてゐる。脚力といふ跳躍力といふ